

地球環境が危機的な状況にある今、 持続可能な循環型社会に向けた変革の一翼を担っていきます。

大量生産・大量消費の社会モデルから脱却し、 新しいビジネスモデルの確立へ

気候変動による被害が世界各地で多発し、地球環境問題は人間社会に大きな危機をもたらしています。また、市場では、天然資源の枯渇や価格の変動、欧州などでの環境規制の厳格化などがビジネスの動向に大きな影響を与えています。このような私たちを取り巻く環境の劇的な変化は、これまでの社会や経済のあり方そのものを問うています。私たちは、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から脱却し、新しい価値観とルールに基づいた社会へと変革を遂げていく必要があります。オフィスの皆様に複写機やプリンターなどの画像機器とソリューションを提供するリコーグループのビジネスも、今まさに転換期を迎えています。資源やエネルギーを大量に使い、物を大量に販売する従来のビジネスモデルは、もはや持続可能ではありません。製品のリサイクルや、同じ製品をお使いいただきながらソフトウェアをバージョンアップするだけで常に最新の機能をご利用いただけるような、新たなビジネスモデルの構築に、私たちの進むべき道があると確信しています。

環境負荷削減と生物多様性保全の両輪で 地球環境問題への取り組みを強化

リコーグループは、環境保全と利益創出を同時に実現する「環境経営」を掲げ、積極的な環境負荷削減活動に取り組んできました。2005年には、より長期的な視点にたつて環境活動を展開するため、2050年までに先進国は環境負荷を総量で1/8に減らす必要があるという認識を「2050年長期環境ビジョン」として表明し、それを実現するために今やるべきことを3年単位の環境行動計画に盛り込んで活動してきました。そして、2009年3月、このビジョンに向けた具体的なステップを明らかにした

「中長期環境負荷削減目標」を新たに策定しました。これは2020年と2050年を照準年として、省エネ・温暖化防止に省資源・リサイクル、汚染予防を加え、世界で初めて3分野での環境負荷削減の数値目標を示したものです。これにより、2050年への道のりを見据えたより実効性の高い活動を展開していきます。また、地球環境の保全では、環境に与えるダメージを減らす一方で、地球環境の再生能力の維持・回復を助けることも重要です。リコーグループは、2009年3月、「リコーグループ生物多様性方針」を策定し、事業活動において生物多様性に配慮する具体的な方針を明らかにしました。これまでの、森林生態系の保全に配慮した紙の調達や世界各地における生物多様性保全プロジェクトの取り組みに加えて、サプライチェーン上流を含む事業活動全体が生物多様性に与える影響について把握に努め、負荷削減活動に取り組んでいきます。

不況の中でこそ、環境経営を強化、加速し 企業価値の向上の原動力に

リコーグループは、2008年度から経営計画の重点戦略のひとつに、「環境経営のさらなる強化、加速」を掲げました。そのうえで、より具体的に活動を加速するため、「中長期環境負荷削減目標」において、ライフサイクルでのCO₂排出の削減、資源枯渇の動向を視野に置いた省資源化の推進、ならびに環境リスクを極小化するための化学物質管理・削減などを3分野のターゲットに定めました。その実現のため、製品の使用電力削減などの環境性能を向上し、その性能をより使いやすいものにする技術、および生産などにおけるエネルギー消費を少なくするプロセス革新技術の開発に取り組めます。また、製品の小型・長寿命



代表取締役 社長執行役員

近藤 史朗

化、リユース・リサイクルの徹底など再生資源の積極的な利用によって、新たに地球環境から採取する鉱物・化石資源量を抑制したもののづくりを行います。さらに、枯渇リスクの高い主要材料の削減・代替に加え、製品に使用される化学物質の地球環境と人体への影響を含めたリスク管理を行い、リスクの大きい化学物質の削減、代替も進めていきます。現在、世界経済は100年に一度とも言われる不況に突入し、容易には出口が見えない状況にありますが、経済危機はこれまでもいくつものビジネスチャンスをもたらしてきました。リコーグループは、この不況の中でこそ、長年にわたって築き上げてきた環境経営のさらなる強化を信念をもって推し進め、企業価値の向上を図っていきます。

革新的な環境技術開発で 「環境産業革命」の担い手の一員として、 持続可能な社会の実現に挑戦

激動する21世紀の社会・経済を新たな価値へと導くものは、私たち産業界が行う「環境技術開発」であり、それによって導かれるものは産業革命にも匹敵するレベルの変革です。リコーグループは、自ら掲げた環境目標を達成するとともに、「環境産業革命」に備え、変革に貢献する担い手の一員として、地球環境と私たちの社会・経済がともに繁栄する持続可能な社会に向け、たゆみない挑戦をしていきます。しかしそれは、私たちだけの努力で実現できるものではありません。リコーグループは、今後も、お客様、仕入先企業、株主・投資家、NGO/NPOや市民など、世界中のステークホルダーの皆様と力をあわせて持続可能な社会の実現に貢献し、地球環境とともに成長し続ける企業を目指します。